

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰 男



### 記

事業の名称	安心・安全な地域づくり備品整備事業
事業実施前の状況	① 最近ひったくり等の犯罪が多発している、 ②防犯・防火対策上当コミュニティが、関係者と協力し巡回班を組織し活動するための備品がそろっていなかった。
事業実施後の状況	① 特別警戒・池田警察署・池田市地域分権石橋コミュニティの提灯を作成(¥16,000)、② 年末活動の拠点詰め所に電気ストーブ(¥34,000)を購入した。
事業の効果	初年度は年末警戒に必要な備品は、各自持ち寄り取りあえず12月の年末に「野玉坂会館」を詰め所とし実施した。駅前と言うこともあり、通行人に周知することが出来た。また巡回により地域住民にも周知することが出来た。
今後の課題等	まだそろっていない備品(アポロキャップ・湯沸かしポット・LEDストロングライト等)が必要。詰め所の確保・年末の防犯防火活動に参加するボランティア活動の人材確保が課題である。

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



### 記

事業の名称	コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	校区内の住民に対して地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を知らせて、理解と支援を得る手段がなかったが20年度より実施している。
事業実施後の状況	①コミュニティ通信「いしばし4号～5号」を校区内の全戸4,250所帯に池田市広報の折り込み紙として3回/年配布しました。 ②またこれらのコミュニティ紙を地域内の掲示板(21年度は7カ所地域分権事業で増設し計14カ所)にも掲示した。
事業の効果	①号を重ねるごとに住民の方から反響があり着実に効果が出ている。
今後の課題等	広報委員会をつくり頑張ったが、まだまだ①掲載内容②紙面の大きさ③部数④配布方法などの検討課題は多い。また20年度池田市アンケート調査では地域分権事業について当石橋校区住民の認知度が大変低いという結果がでており残念であり。今後はさらに地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を多くの方々にお知らせして、理解と支援を得る用努力したい。

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



### 記

事業の名称	地域掲示板設置事
事業実施前の状況	当地区には、社会福祉協議会の掲示板が10カ所ほど、自治会の掲示板が5カ所ほど、池田市と大阪府の団地の掲示板が2カ所ほど設置されています。H20年度に当地域コミュニティにて7カ所新設いたしました。
事業実施後の状況	今回、21年度当地域コミュニティに7カ所追加設置いたしました。 大型タイプ ① 石橋小学校正門東側 普通タイプ ② 旭丘会館・ ③石橋2丁目第2公園・ ④ ユニハイム池田・石橋付近・ ⑤ 井口堂3丁目1ミニ公園・ ⑥ 狭間池住宅前の緑地付近・ ⑦ 市民文化会館東側指導付近
事業の効果	掲示物件の効果は徐々に現れてきているお思います。営利目的的なものは掲示から外しています。今年度掲示したものは○石橋地域通信「いしばし」3号、4号、5号、6号・○石橋中学校放課後、土曜事業の案内・○地域アーティスト文化展の案内・○地域行事等の案内
今後の課題等	地域通信と合わせて広報の相乗効果が出るようにしてゆきたい。地域広報活動の拠点として十分に力が発揮できると思う。今年度7カ所設置、昨年度と合わせて14カ所になりました。地域のバランスをみながらH22年度は3, 4カ所ほど設置したい。

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



### 記

事業の名称	地域イベント整備事業
事業実施前の状況	①地域の行事(石橋校区納涼大会・市民レクレーション住民大運動会等)の備品が整備できていない状況であった。
事業実施後の状況	①この度の事業で地域行事に対応できるよう備品(長机10・櫓の紅白幕)を整備した。また学校行事にも共用でき行事規模に柔軟な取り組みが出来る。
事業の効果	①地域イベントに必要な備品を配置対応することで学校と地域がより緊密になった。
今後の課題等	①地域イベント整備事業を実施する場合いつも問題になるのは古くなった既存の備品の活用であるが地域や学校と連携をとりながら有効な活用を目指して今後も整備してゆきたい。

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



### 記

事業の名称	AED配置事業
事業実施前の状況	AED配置に関しては20年度に行ったが、保管箱がない状態であった。
事業実施後の状況	AED保管箱ヲ購入しAEDを適切に配置した。
事業の効果	共同施設井口堂北会館への配置箱が明確になりは、緊急時対応で安心・安全意識が高まった。
今後の課題等	AEDをより身近な地域の安心安全なものにするために、多くの方々に使用の講習会に参加していただき、緊急時の対応に備えて欲しい。 AEDのメンテナンスには行政側の指導に従い、細心の注意を払い安全に留意したい。

<様式4号>

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



### 記

事業の名称	交通安全看板等設置事業(通学路の安全対策について)
事業実施前の状況	小学生の通学途上、広い道路への飛び出しがあった。
事業実施後の状況	路面舗装シールを貼り付けることにより、通学中に注意を払う様子が見受けられる。
事業の効果	4月、1年生に特に効果が見受けられた。
今後の課題等	よりよい教育のために、今後も通学上においても学校と親密に連携する事

<様式4号>

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



### 記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	隣の箕面市と比較しても、相対的に決して暗いと言うことはないが、地域の人からの申し出や、実際に見回ったところ、まだ暗いところがある。
事業実施後の状況	地元の要望と役員並びに担当部会により地域内を再三巡回し薄暗い場所や街灯はあるが劣化による照度不足の場所のチェックを行い計画カ所の改善が図れた。 五
事業の効果	安心安全な町づくりのための防犯・安全対策の増強がはかれた。
今後の課題等	校区内の重点カ所を最優先して整備しましたが、今後も徐々に照度アップを含めて年次計画を立てて整備して行きたい。大変感謝されるところが多かった。今後も公共性・環境等を考慮しながら進めていく必要がある。

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰 男



### 記

事業の名称	道路(池高道)の安全対策
事業実施前の状況	この道は、東畑線と平行しており校区内を南北に走る道路で沿道には敬老会館・池田高校・石橋中学・石橋小学校・石橋保育所・石橋公園等の公共並びに文教施設が点在しており高齢者はもとより通勤通学者や一般住民の主要な道路である。実施前は、路側帯(幅約1m弱)の明示に白線幅約10cmが引いてあった。しかし幅員約6m位と狭い上に東畑線の迂回路として車が利用するため通行量が多く、歩行者が常に車に注意しながら歩行するという非常に危険な状況にあった。20年度より3カ年計画で実施中の2年目に当たり初年度の地元の評価は非常に高くなぜもっと長い距離が出来ない加藤の意見が多く出ていた。
事業実施後の状況	上記の路側帯(幅約1m弱)の部分鮮やかなグリーン色の歩道帯として塗装して歩道と車道の区分を明確にし意識的に分離した。元々、池校道は道路幅が狭く、歩行者と通行車両が輻輳していたが、歩行者はグリーンベルト上を歩き、車両が行き交うときは注意してグリーンベルトに入り込むと言う意識が生まれている。
事業の効果	ちょっとした工夫により、歩行者と車両運転者との相互安全のアップが図られ、交通のモラルが向上することが分かった。
今後の課題等	この道路の状況は先にも述べたが多くの住民が日々利用する主要な道路であるが、特に舗装の老朽化が目立っていた。21度は行政側の努力もあり、舗装の改修工事と併せて施工する事が出来た。この度の地域分権制度から生じた効果である。石橋校区内池校道のグリーンベルト未施工区間は約70mを残すのみとなり22年度(3カ年計画の最終年)完成させたい。



<様式4号>

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



### 記

事業の名称	教育問題等講演会開催事業
事業実施前の状況	インフルエンザの流行で子供たちだけでなく大人も病気になる前に、困った時に誰に相談するか不安であった。
事業実施後の状況	本年は幸い軽微な流行であったが、以降流行したときに早く、対策がとれると、生活に安堵感がもたれました。
事業の効果	今年のインフルエンザの地域的な状況が理解できて保健衛生に寄与できた。
今後の課題等	よりよい教育のために今後も学校と緊密に連携すること。

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



### 記

事業の名称	文化芸術展当開催事業「写真展・絵画展の開催(町のアーティスト)
事業実施前の状況	アマチュアの方の写真・書・絵画などの発表の機会は、今まであまりなかった。また文化展を鑑賞できる場は少なかった。
事業実施後の状況	発表出来る場が今後も確保できると思う。また、鑑賞できる機会を持つことが出来たと思う。出品できなかつた人も多く、また出品して欲しい人も見つかり今後ともに実施できる目途が分かった。来場者11/6~10の5日間で240名。皆様の協力に感謝です。
事業の効果	地域に、芸術・文化に興味のある方が多くいらっしゃるのがよく分かった。出品者も鑑賞に来てくださる方も上手に広報すればそこそこ集まることが分かった。芸術の奥行きが深いのが分かり、実施した意味があったと思います。
今後の課題等	作品の種類を増すとか絞っての展示にするとかを今後考えたい。今後とも出品者にも鑑賞者にも満足してもらえようようにしたい。地域の人たちがこの企画をつうじてコミュニティの輪が広がり、つながりを持つような企画を今後考えてゆきます。